

「沖縄の大切な言葉」

西原町立西原南小学校

6年生 長田ゆりあ

「どういうみ〜？」

私のおじいちゃんは、若い人や、子どもたちなど方言のわからない人にわざと、ふざけて、方言を使ってはなします。

なので、わたしはいつも、

「どういうみ〜？」

「どういうこと〜？」

と聞いていますが、まだよくわかりません。

私は、方言を少しでもいいから知って、おじいちゃんやおばあちゃんと、方言を使っておしゃべりしてみたいです。

最近では、沖縄でも方言を使う人が少なくなってきました。若い人でも、方言を知らない人が多いし、おじいちゃん、おばあちゃんでも使う人が少なくなっているそうです。

方言には、「命どう宝」や「いちやりばちょで一」などのいい言葉もたくさんあります。それから、方言を使った歌も、「ていんさぐぬはな」など、ほかにもたくさんあってどれもいい歌ばかりです。

私は、外国の方や、他の県の人たち、そして、沖縄の若い方や子どもたちに方言のよさを知ってもらいたいし、私もしりたいです。

そのために、方言のうたやおどりを、歌詞カードや意味訳をつけたりして、外国や他の県にひろめたいです。

それから、沖縄でも、子どもたちに知ってもらうために音楽の授業に方言の歌を入れたり、方言の歌のおどりを、ボランティアの方に、おしえてもらって観光客の人たちにおしえてあげる企画をしたら、いいと思います。

そしたら、「沖縄にはおもしろい、沖縄県だけの言葉があって、おどり、歌もあるんだ〜。」と思ってもらえるし、「沖縄だけの歌、わたしも、うたったり、おどったりしたい」と思ってもらくとみんな沖縄にきたがるんじゃないかと思っています。

沖縄にきてくれたら、方言を、おじいちゃん、おばあちゃん、若い人、子どもたちなどいろんな人みんなで、おしえてあげられたらいいと思います。

そしたら、沖縄の人との、交流も増えるし世界中のみんなに、方言のよさ、沖縄の人たちのよさが、よく知ってもらえると思います。